

note、自動多言語対応を全クリエイター向けに提供開始 日本語コンテンツを、世界に届ける取り組み

5月27日(水)からスタート!



noteは本日、日本語で書かれたコンテンツを世界中の読者に届ける多言語対応を、全クリエイターを対象に提供開始しました。

日本語だけではつくりにくかった接点が少しずつ広がり、クリエイターみなさんのコンテンツが、広く世界の読者に届きます。たとえば、日本で活動するクリエイターがnoteを通じて海外のファンと出会う、伝統工芸の記事が海外バイヤーの目に留まる、企業の製品ストーリーが海外市場で注目されるといった機会が広がります。

これまでnoteは、検索やAIと相性のよいプラットフォームであり続けることを重視したプロダクト開発を進めるとともに、Google・NAVER・KADOKAWAとの資本業務提携を通じてグローバルなパートナーと共に事業を推進してきました。今回の多言語対応により、こうした検索・AIとの親和性やパートナーシップを活かし、クリエイターの記事が世界中の読者に届く可能性を広げていきます。

自動の多言語対応により広がること

世界中のひとに読んでもらえるチャンスがふえる

日本語を知らない海外の読者でも、海外向けプラットフォームや翻訳サービスを介さず、そのまま記事が読めるようになります。

海外の検索結果やSNSに表示されるようになる

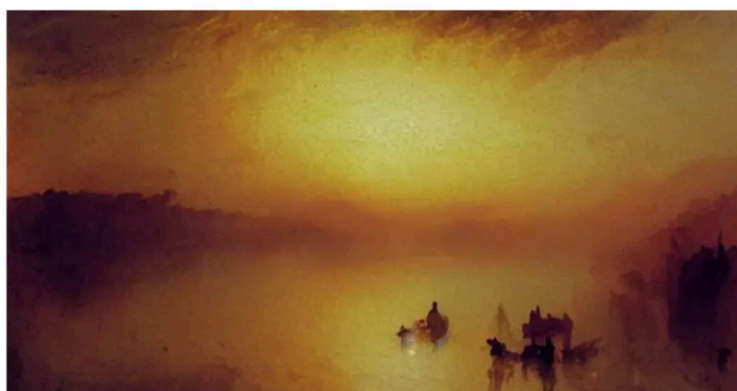
記事が英語に翻訳されることで、日本語以外の言語で検索した読者に見つけてもらえる可能性が高まります。翻訳された記事がSNS上でタイムラインに流れたりすることもあります。

海外でもAIサービスに紹介されやすくなる

AIを通じて、海外でも記事が紹介されたり参照されたりする機会がふえます。2025年に株式会社ヴァリューズと実施した共同調査（*1）では、noteへの生成AI経由の流入が、検索流入から予測される期待値を約4倍上回りました。多言語対応により、こうしたAIとの親和性が海外読者との接点拡大にもつながります。

*1出典：[2025年10月30日 ヴァリューズ × note共同調査](#)

自動翻訳された記事の表示例



The Eve of World Transformation Was Quieter Than I Thought

♡ 6,878



深津 貴之 (fladdict)
2022年8月22日 02:30

The fundamental rules of the world are about to change... That kind of development often happens in manga and movies. It seems like it's about to happen in reality too.

<https://note.com/fladdict/n/n13c1413c40de?hl=en>

その他の自動翻訳された記事例

<https://note.com/fladdict/n/nf4c104d4ed2b?hl=en>

<https://note.com/fladdict/n/ned53054ddc5b?hl=en>

<https://note.com/fladdict/n/n14d18afc14ed?hl=en>

対象となるのは、noteに公開済みのテキスト記事のうち一定の基準を満たすもので、法人向け高機能プラン「note pro」で公開された記事も含まれます。既存記事の翻訳は数日かけて順次適用されます。

初期設定では「記事の自動翻訳」がONになっており、コンテンツを翻訳するかどうかはクリエイターのみなさんが選択できます。管理画面（アカウント設定）からアカウント単位で、また記事ごとに個別で、オン・オフを切り替えることができます。

くわしい設定方法やよくある質問については[ヘルプページ「自動での多言語対応」](#)をご覧ください。

これまでの歩みと今後の展望

本取り組みは、クリエイターのみなさんが安心して利用できるよう、段階的に進めてきました。

- 2026年1月：自動の多言語対応の試験運用開始を発表。先行利用枠の募集を開始
- 2026年3月：先行クリエイターの記事約2万件を対象に試験運用を実施。翻訳の精度、表示のされ方、海外からのアクセス傾向などを検証
- 2026年4月：本格提供に向けて、設定・変更方法や利用規約の一部改定等について事前のお知らせを実施
- 2026年5月27日（本日）：全クリエイター向けに提供開始

今後も、クリエイターの作品がより多くの読者に届くよう、翻訳精度や海外の反応を見ながら、対応言語の拡大や有料記事・メンバーシップ特典記事への対応について、引き続き検討を進めていきます。

note

noteはクリエイターが文章や画像、音声、動画を投稿して、ユーザーがそのコンテンツを楽しんで応援できるメディアプラットフォームです。だれもが創作を楽しんで続けられるよう、安心できる雰囲気や、多様性を大切にしています。個人も法人も混ざり合っ、好きなものを見つけたり、おもしろい人に出会えたりするチャンスが広がっています。2014年4月にサービスを開始し、約7520万件の作品が誕生。会員数は1178万人（2026年2月末時点）に達しています。

- URL：<https://note.com/>
- iOSアプリ：<https://itunes.apple.com/jp/app/note-noto/id906581110>
- Androidアプリ：<https://play.google.com/store/apps/details?id=mu.note>

note株式会社

わたしたちは「だれもが創作をはじめ、続けられるようにする」をミッションに、表現と創作の仕組みづくりをしています。メディアプラットフォームnoteは、クリエイターのあらゆる創作活動を支援しています。クリエイターが思い思いのコンテンツを発表したり、メンバーシップでファンや仲間からの支援をうけたり、ストアでお店やブランドオーナーが商品を紹介したり、note proを活用して法人や団体が情報発信をしたりしています。

所在地：〒102-0083 東京都千代田区麴町6-6-2

設立日：2011年12月8日 代表取締役CEO：加藤貞顕

コーポレートサイト：<https://note.jp>

【本件に関するお問い合わせ先】

note株式会社 IRお問い合わせ窓口：<https://ir.note.jp/inquiry>